

PMBOK実用化 テンプレートのご紹介

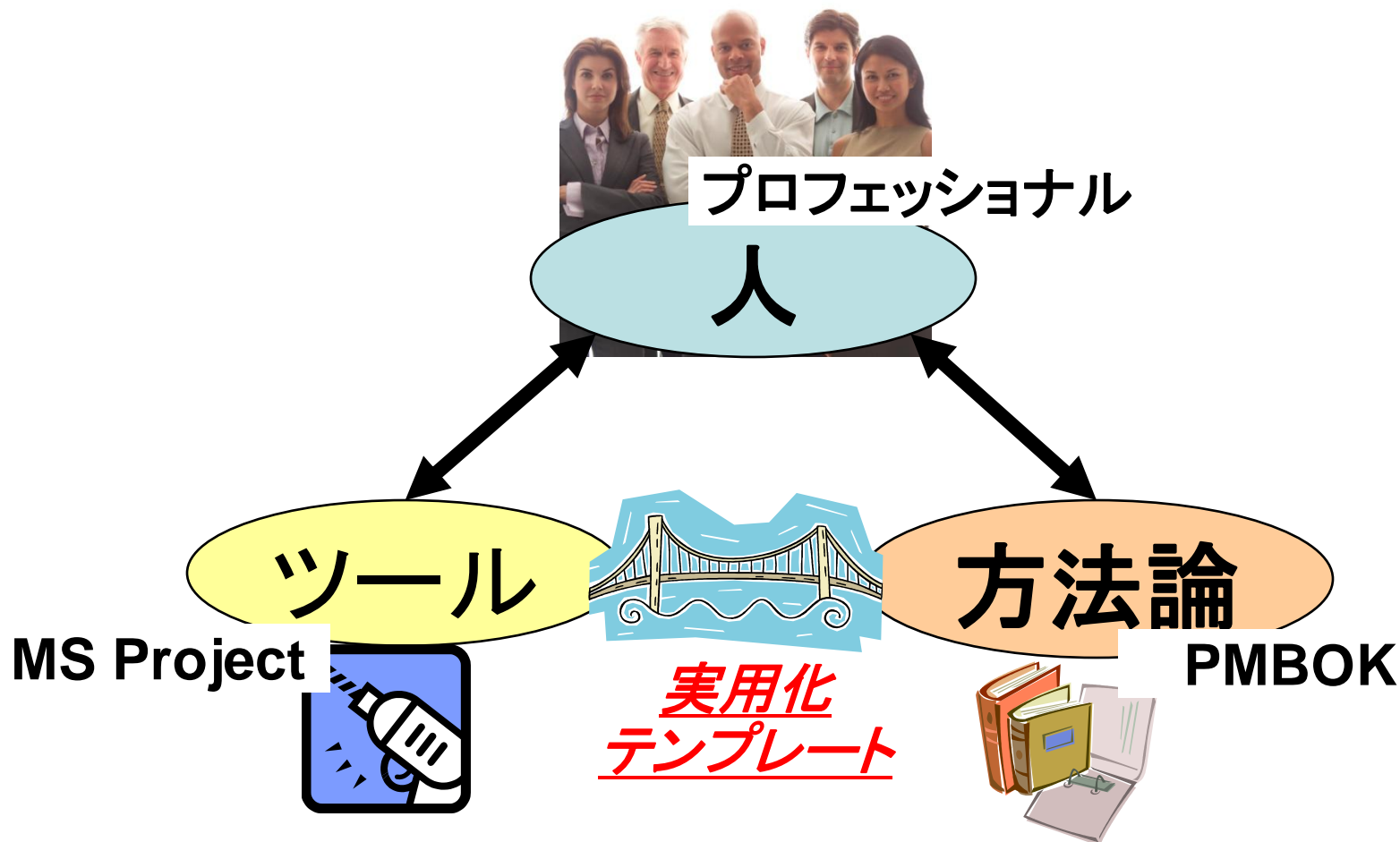
PMI東京支部 PMBOK委員会
副委員長 高橋 正憲

Microsoft Office
Project Conference 2007 in Autumn



本講演のポイント

プロジェクトマネジメント実践の3要素



Agenda

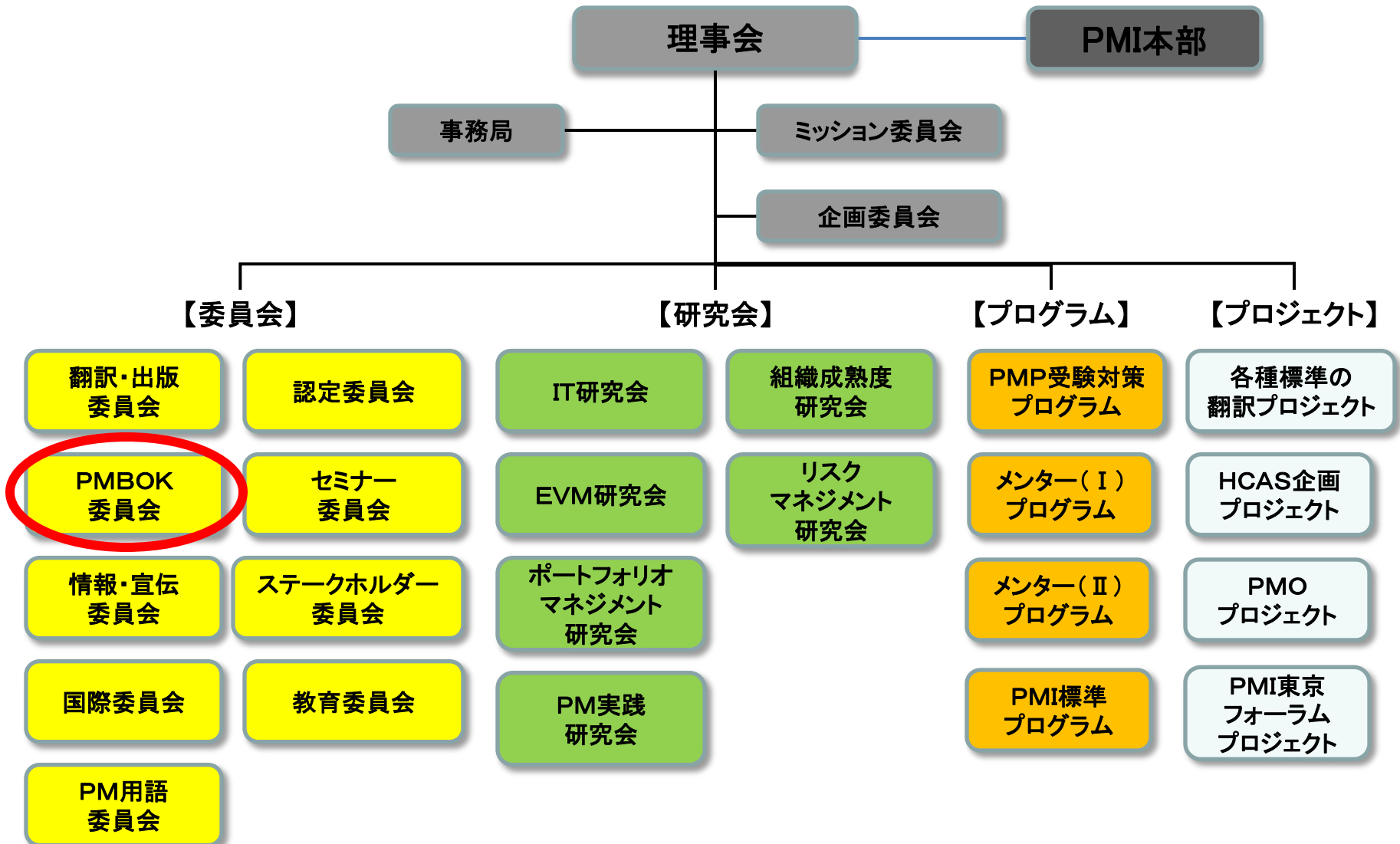
はじめに

1. PMBOKテンプレート開発計画
2. 第1期開発テンプレート
3. 第2期開発テンプレート
4. テンプレートの活用と今後の展開

Microsoft Office
Project Conference 2007 in Autumn



はじめに： PMI東京支部の紹介 (2007年9月現在)



PMBOK委員会のミッション

PMBOK委員会のミッション

- PMBOKガイドの研究調査
- 関連情報の収集・発信
- PM技術の普及推進
- ISO(PC236)研究

メンバー(33名)

(委員長)田島 彰二 (副委員長)高橋 正憲
(幹事)野口 卓爾 山本 和男 秋庭 茂

PMBOK情報WG

(5名)

(主査)山田善弘
(幹事)早川 進

PMBOKアップデートWG

(11名)

(主査)川俣 賢一
(幹事)庄司 敏浩

PMBOK実用化WG

(6名)

(主査)岡野 智加
(幹事)渡辺 孝

PMBOKセミナーWG

(11名)

(主査)伊熊 昭等
(幹事)坂上 慶子

PMBOK実用化ワーキング・グループの活動

PMBOK実用化WGの活動

- PMBOK実務適用ノウハウの収集・分析
- PMBOKテンプレート等ツールの作成・公開・更新
- PMBOKテンプレートの紹介・意見交換

2005年	2006年	2007年
世界のテンプレート調査		テンプレート紹介セミナー(3回)
テンプレート作成方針の決定	第1期テンプレート開発 (三大文書、WBS、リスク登録簿等20件)	テンプレート更新 ・PMフォーラム(随時) ・ワークショップ(3回)
	発表 PMI東京 フォーラムにて	第2期テンプレート開発 (実行/監視コントロール関係11件)
		発表
		製造業向けテンプレート ワークショップ(12/17)

1. PMBOKテンプレート開発計画

- 1.1 PMBOK実用化の難しさ
- 1.2 世界のテンプレート調査
- 1.3 実用化テンプレート作成の狙いと作成方針
- 1.4 サンプル・プロジェクトの概要

Microsoft Office
Project Conference 2007 in Autumn



1.1 PMBOK実用化の難しさ(1)

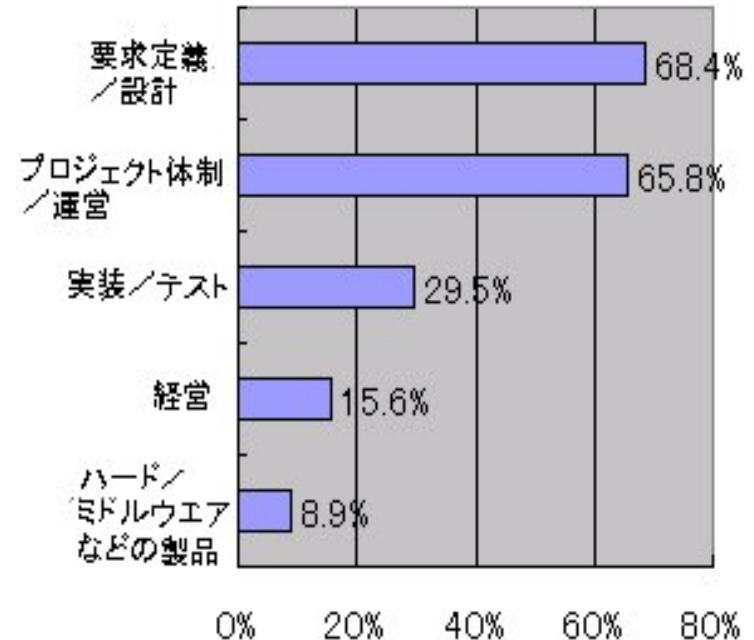
- ITプロジェクトの成功率は30%

- 失敗の原因は

- 要件定義？
- プロジェクト運営？

- PMBOKなんて役に立たない？

- そんなにやってもらえない
- どうすればよいかわからない
- 「マネジメント」より「ものづくり」
- トップダウンは日本の風土に合わない
- とっくにやっている？



●経験したトラブルはどこに原因
があるとお考えですか
複数回答。有効回答数は640
(ITPro 2005/02/01)

1.1 PMBOK実用化の難しさ(2)

- プロジェクトの価値を高めるものは？
 - ものづくり技術 ⇒ 成果物の価値を高める
 - 製品の機能、性能、寸法、重量、…
 - サービスの質、量、…
 - マネジメント技術 ⇒ プロセスの価値を高める
 - スケジュール、コスト、資源、リスク、…
- PMBOKを知っていてもプロマネはできない？
 - PMBOKを使うノウハウ ⇒ プロジェクトマネジメント方法論（まずは、

テンプレート

 +

活用法

）

1.2 世界のテンプレート調査(1)

- 調査結果

- 書籍／CD

- PMI® Compendium of Project Management Practices, PMI, 2003.
 - Kathleen Demery, Fast Forms for Managing Software Projects, Management Concepts, 2000.
 - Jolyon Hallows, The Project Management Office Toolkit, AMACOM, 2002.
 - Dragan Milosevic, Project Management ToolBox, John Wiley, 2003.
 - Tom Kendrick, The Project Management Tool Kit, AMACOM, 2004.

- Web

- 政府関連 （アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアなど17件）
 - 大学関連 （プリンストン大学など3件）
 - その他 （プロバイダー有料サイトなど10数件）

1.2 世界のテンプレート調査(2)

PMI® Compendium of Project Management

PMBOK Process Group / Knowledge Area	Section (2000)	Section (3e)	Template	Form
Title				
Introduction			1. Mapping of Project Management Processes to Process Groups and Knowledge Areas	(Table)
I Initiating The Project				
Project Scope Management				
Product Description	5.1.1.1	4.2/5.2	2. Product Description Development Outline	Word
Project Charter	5.1.3.1	4.1	3. Project Charter Template	Word
II Planning The Project				
Project Integration Management				
Project Planning Methodology				
Project Plan	4.1.3.1	4.3	4. Project Planning Checklist	Word
Project Scope Management				
Product Analysis	5.2.2.1	5.2	5. Quality Function Deployment Matrix Example: Roasting a Chicken	Excel
Scope Statement	5.2.3.1	5.2	6. Scope Statement Template	Word
Scope Management Plan	5.2.3.3	5.1	7. Scope Management Plan Template	Word
Work Breakdown Structure	5.3.3.1	5.3	8. Work Breakdown Structure	Excel
Project Time Management				
Precedence Diagramming Method	6.2.2.1	6.2	9. Network Logic Diagram Using Precedence Diagramming Method	Excel
Arrow Diagramming Method	6.2.2.2	6.2	-	
Activity Duration Estimates	6.3.3.1	6.4	10. Activity Duration Estimating Sheet (Sample)	Excel
Resource Pool Description	6.4.1.4	6.5	11. Resource Pool Description Template	Word
Mathematical Analysis	6.4.2.1	6.5	12. PERT Duration Calculation for a Single Activity	Figure
Project Schedule	6.4.3.1	6.5	13. Sample Bar (Gantt) Chart	Excel
	6.4.3.1	6.5	14. Milestone Chart	Word
Schedule Management Plan	6.4.3.3	6.5	15. Schedule Management Plan Template	Word

1.2 世界のテンプレート調査(3)

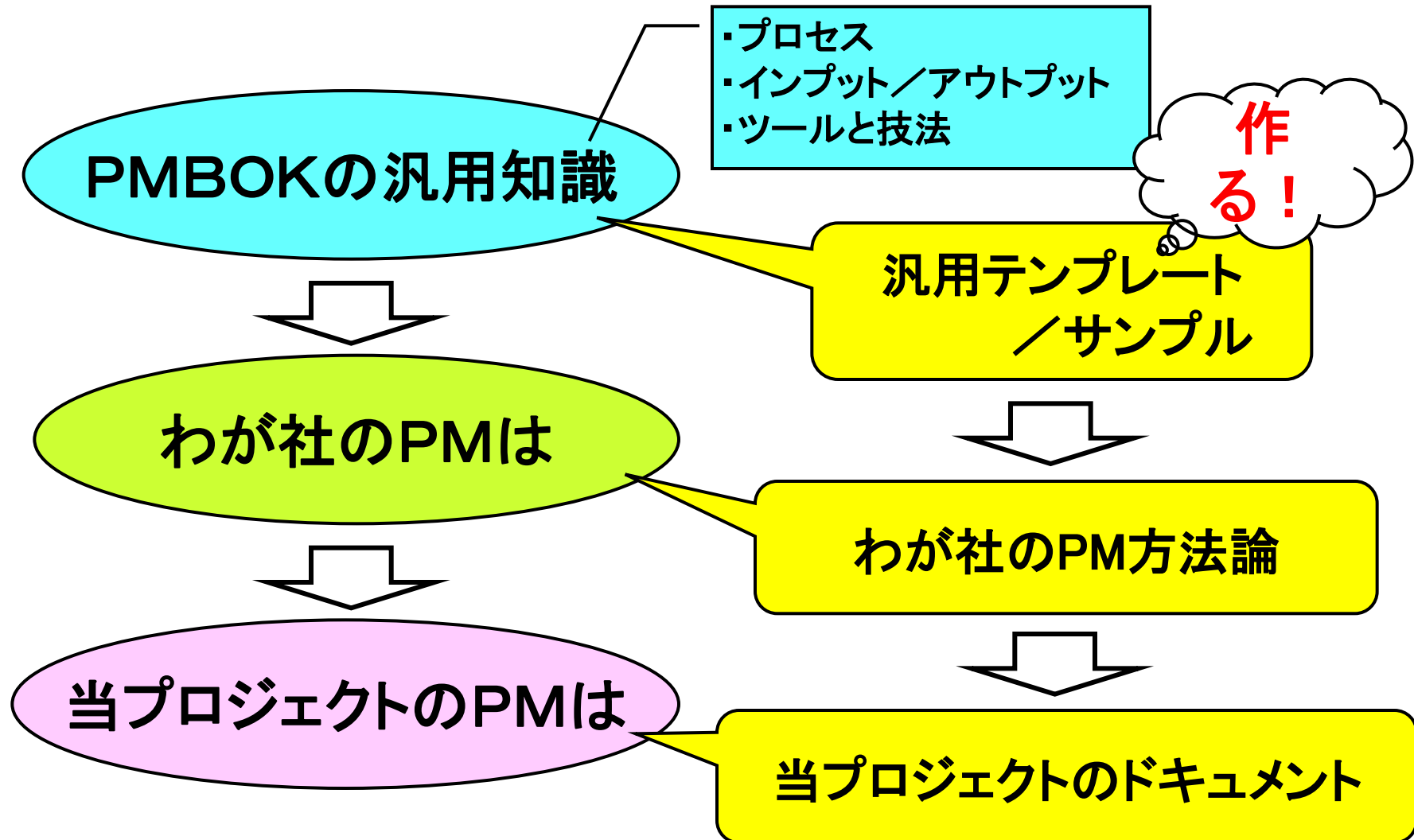
- 課題

- そのまま日本で使えるものが少ない。
- PMBOK第3版対応のものがない。
- 項目列挙しかないテンプレートは、本当に実用的か？

- 解決策

- 実用的なテンプレートにするためには、日本のメンバーの経験を集める必要がある。

1.3 実用化テンプレート作成の狙いと作成方針(1)



1.3 実用化テンプレート作成の狙いと作成方針(2)

- PMBOK第3版に沿って、各知識エリア毎のテンプレートを作成する。
- 優先順位を決定する。
 - － 第1期 計画プロセス群のテンプレート
 - 3つの主要文書
 - － プロジェクト憲章
 - － プロジェクト・スコープ記述書
 - － プロジェクトマネジメント計画書
 - ニーズの高いもの：スコープ、リスク、教訓関連
 - － 第2期 実行／監視コントロール群のテンプレート

1.3 実用化テンプレート作成の狙いと作成方針(3)

- 記入済みサンプルとする。
 - 単に項目を羅列したテンプレートではない。
 - 不要な項目は削除し、必要な項目を網羅する。
- 複数のバージョンを作成する。
 - プロジェクトの規模、業種別のテンプレートが必要
 - 初めは、中規模 I Tプロジェクトにフォーカスする。
- ツールとしてMicrosoft Office Projectを使用する。
 - スコープ／スケジュール／コスト／品質（WBS辞書）の一元管理
 - 文書管理（ハイパーリンク機能使用）

1.4 サンプル・プロジェクトの概要

- プロジェクト名 :
『スポーツ用品ネット販売システム構築プロジェクト』
- 顧客 : 株式会社XYZ社
- プロジェクト遂行組織 : 株式会社ABC社
- 成果物 : スポーツ用品ネット販売システム
- プロジェクト期間 : 2006年4月1日～2007年3月31日
- 予算 : 240,000,000円
- プロジェクト発足の理由 :
XYZ社の販売システムは、電話やFAXで受注した情報をオフコンに入力して処理しているので、他社に出遅れシェアが後退している。その問題を解決するため、販売システムのレベルアップを図る。

2. 第1期開発テンプレート

- 2.1 第1期の成果物一覧
- 2.2 主要3文書(プロジェクト憲章/スコープ記述書/
プロジェクトマネジメント計画書)
 <文書テンプレート・デモ①>
- 2.3 その他の構成要素(WBS等)



2.1 第1期の成果物一覧

3つの主要文書(3)

プロジェクト憲章

スコープ
記述書

プロジェクト
マネジメント
計画書

•教訓管理表
•教訓レポート

補助の計画書(7)

スコープ・マネジメント計画書

スケジュール・マネジメント計画書

コスト・マネジメント計画書

品質マネジメント計画書

要員マネジメント計画書

コミュニケーション・マネジメント計画書

リスク・マネジメント計画書

その他の構成要素(10)

•WBS
•WBS辞書

•スケジュール

•コスト・ベースライン

•品質管理グラフ

•プロジェクト組織図

•リスク登録簿
•リスク対応計画シート

2.2 主要3文書

PMBOKの内容項目とテンプレートで採用した内容項目

プロジェクト憲章

- 4 ステークホルダーの要求事項
- 2 ビジネスニーズ／製品要求
- 3 プロジェクトの目的や妥当性
- 1 プロジェクト・マネジャーと権限レベル
- 6 要約マイルストーン・スケジュール
- 5 ステークホルダーの影響
- 5 機能型組織部門とその関与
- 5 組織、環境、外部に関する前提条件
- 5 組織、環境、外部に関する制約条件
- 3 プロジェクトの妥当性を示すビジネス・ケース
- 1 要約予算

頭の数字はテンプレートで再整理した章立てを示す。

プロジェクト・スコープ記述書




- ープロジェクト目標
- 1 成果物スコープ記述書
- 2 プロジェクトに対する要求事項
- 3 プロジェクトの境界
- 1 プロジェクトの要素成果物
- 4 成果物受入基準
- 6 制約条件
- 5 前提条件
- ー初期段階でのプロジェクト組織
- ー初期段階で明確化したリスク
- ースケジュール・マイルストーン
- ー資金の制約
- ーコスト見積り
- ーコンフィギュレーション・マネジメントに対する要求事項
- ープロジェクト仕様書
- ー承認に対する要求事項

プロジェクトマネジメント計画書

- 1 プロジェクトマネジメント・プロセスとその実行レベル
- 3 ツールと技法の記述
- 3 選択したプロセスの使用方法
- 4 プロジェクト目標を達成するための作業の実行方法
- 5 変更の監視及びコントロール方法
- ーコンフィギュレーション・マネジメントの実施方法
- 2 パフォーマンス測定、ベースラインの使用方法
- ーコミュニケーションのためのニーズと技法
- 3 選定したプロジェクト・ライフサイクル（フェーズの構成）
- 6 未決課題の解決を促進するマネジメント・レビュー

2.2 主要 3 文書

PMBOKにおける3つの主要文書作成方針

- プロジェクト憲章  Why?
- プロジェクト・スコープ記述書  What?
- プロジェクトマネジメント計画書  How?

2.2 主要 3 文書

プロジェクト憲章の目次

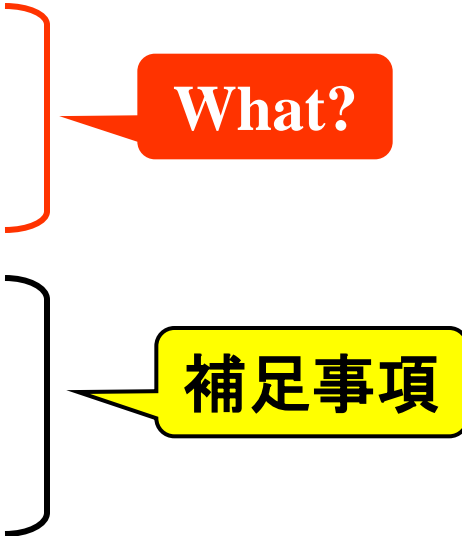
1. プロジェクト概要
2. プロジェクトの背景
3. プロジェクトの目的と妥当性
4. プロジェクト要求事項
5. プロジェクト環境
6. プロジェクト・スケジュール
7. プロジェクト資源
8. プロジェクトマネジメント基本方針
(オプション)

Why?

補足事項

2.2 主要 3 文書

プロジェクト・スコープ記述書の目次

- 1. プロジェクト成果物スコープ
 - 2. プロジェクト作業スコープ
 - 3. 除外事項
 - 4. 成果物受入基準
 - 5. 前提条件
 - 6. 制約条件
- 
- What?
- 補足事項

2.2 主要3文書

プロジェクトマネジメント計画書の目次

1. プロジェクトマネジメント方針
2. プロジェクト目標とパフォーマンス測定ベースライン
3. プロジェクトマネジメント計画
(補助計画書を添付)
4. プロジェクト実行の指揮・マネジメント
5. プロジェクト作業の監視コントロール
6. 統合変更管理
7. プロジェクト終結

はじめに方針あり

How?

<文書テンプレート・デモ①>

プロジェクト憲章 (次ページに補足説明)

プロジェクトマネジメント計画書

スコープマネジメント計画書

<文書テンプレート・デモ①>

[4131]プロジェクト憲章

(テンプレートからの引用)

- プロジェクト憲章とは
 - － 『プロジェクトを公式に認可する。』

●まえがき●

当プロジェクト憲章は、<スポーツ用品のインターネットによる販売システムの構築>プロジェクトを公式に認可するとともに、プロジェクト・マネジャーを任命するものである。
当プロジェクト憲章は、当該プロジェクトへの要求事項と当該プロジェクトに提供される資源を特定し、以後のプロジェクト計画および実行の基準とする。

- － プロジェクト・スポンサーが発行する。
 - ⇒ PMOが事務局として草案を準備する？
- － プロジェクト・マネジャーを任命する。
 - ⇒ スポンサーとの契約？
- － プロジェクト開始を意思決定する。
 - ⇒ プロジェクトの誘因[背景] → 投資効果分析（プロジェクトの選定手法）？
 - ⇒ フィービリティ・スタディが先行する？
- － 複数フェーズのプロジェクトの場合
 - ⇒ フェーズ終了時にプロジェクト憲章を見直して後続フェーズの認可？

<文書テンプレート・デモ①>

- プロジェクト要求事項

4. プロジェクト要求事項

4.1 顧客要求事項

4.2 成果物に対する要求事項

4.3 プロジェクト・スコープ概要

4.4 除外事項

4.5 受け入れ基準

- 顧客要求事項（顧客：社内の場合も含む）
 - 契約書、SOWのビジネス・ニーズ ⇒ 顧客の表現→解釈
- 成果物に対する要求事項
 - SOWの成果物スコープ ⇒ 顧客の表現→解釈
- プロジェクト・スコープ概要
 - 上記2項のまとめ ⇒ プロジェクト・スコープ記述書のベース
- 除外事項 ⇒ プロジェクト・スコープの境界を明確にする。
- 受入基準 ⇒ 判定基準を明確にする。

2.3 その他の構成要素

知識エリア	公開テンプレート名	備 考
[4]統合マネジメント	•教訓管理表 •教訓レポート	
[5]スコープ・マネジメント	☆WBS ☆WBS辞書	WBS、WBS辞書、プロジェクト・スケジュール、コスト見積もりは、一括してMicrosoft Office Projectにて作成
[6]タイム・マネジメント	☆プロジェクト・スケジュール	
[7]コスト・マネジメント	☆コスト・ベースライン	
[8]品質マネジメント	•品質管理グラフ(Xチャート)	
[9]人的資源マネジメント	•プロジェクト組織図	
[11]リスク・マネジメント	•リスク登録簿 •リスク対応計画シート	

3. 第2期開発テンプレート

3.1 第2期の成果物一覧

＜文書テンプレート・デモ②＞

3.2 MS Projectテンプレート

＜ MS Projectテンプレート・デモ＞



Microsoft Office
Project Conference 2007 in Autumn



3.1 第2期の成果物一覧

知識エリア	計画 (1)	実行 (1)	監視コントロール (8)	終結 (1)
[4]統合マネジメント		☆作業パフォーマンス情報	<ul style="list-style-type: none"> ●変更要求書 ●予防処置提案書 ●是正処置提案書 ●欠陥修正提案書 	●教訓チェックリスト
[9]人的資源マネジメント			●課題管理表	
[10]コミュニケーション・マネジメント			<ul style="list-style-type: none"> ☆タイムシート ☆実績報告書 ☆アーンド・バリュース報告書 	
[11]リスク・マネジメント	● リスク・チェックリスト			

<文書テンプレート・デモ②>

リスクチェックリスト(次ページに補足説明)

リスク登録簿

リスク対応計画シート

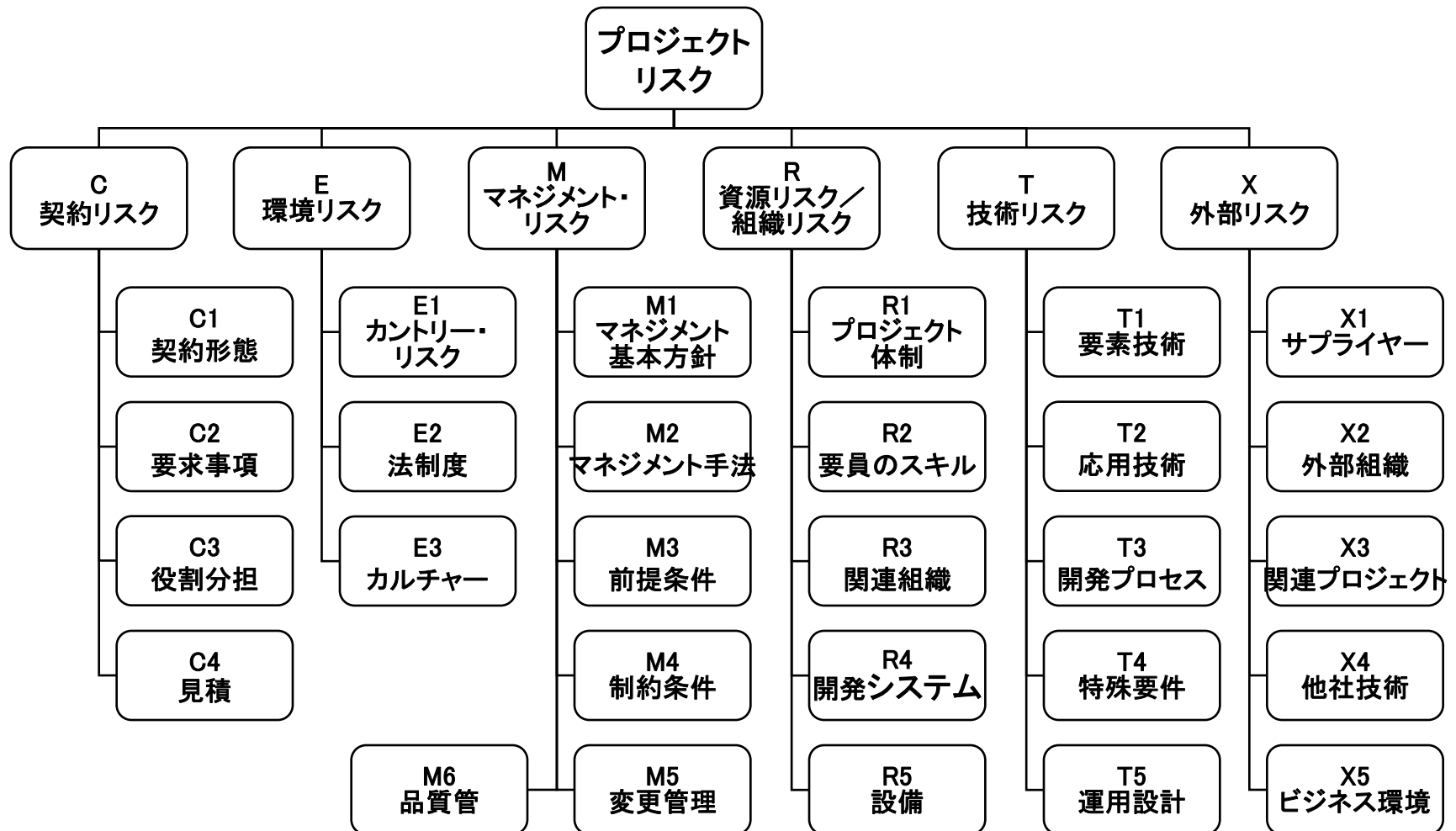
<文書テンプレート・デモ②>

[11635]リスク・チェックリスト

- リスク・チェックリスト（プロセス資産）の目的
 - リスク要因の発見／リスク影響の予測
- リスク・チェックリストの利用／更新
 - 提案時／受注時
 - 立上げ時
 - 計画時（PMBOKの「リスク識別」）
 - 監視コントロール（残存リスク、二次リスクの識別）
 - 随時
- リスク・チェックリストのバージョン
 - プロジェクト・タイプの違い
 - 各プロジェクト・フェーズでRBSの違い／目標の違い

<文書テンプレート・デモ②>

• リスク・ブレイクダウン・ストラクチャー (RBS)



<MS Projectテンプレート・デモ>

WBS/WBS辞書 (次ページに補足説明)

スケジュール/コスト・ベースライン

作業入力シート

実績報告書

アーンドバリュース報告書

<MS Projectテンプレート・デモ>

[5332] WBS/[5333] WBS辞書/[6531]スケジュール

	WBS 番号	タスク名	期間	開始日	終了日	基準コスト	責任者
0	0	□ スポーツ用品ネット販売システム構築プロジェクト	437日	06/04/03 (月)	08/01/02 (水)	¥18,817,250	
1	1	⊕ 要件定義	45日	06/05/23 (火)	06/07/25 (火)	¥2,442,500	中島 隆志
7	2	⊕ 外部設計	35日	06/07/26 (水)	06/09/12 (火)	¥5,055,000	中島 隆志
28	3	⊕ 内部設計	35日	06/09/13 (水)	06/11/02 (木)	¥817,500	矢島 謙一
41	4	⊕ 開発実施	226日	06/11/06 (月)	07/10/01 (月)	¥1,423,000	田崎 浩二
55	5	⊕ 結合テスト	17日	07/10/02 (火)	07/10/25 (木)	¥1,337,000	工藤 伸明
61	6	⊕ システムテスト	37日	07/10/26 (金)	07/12/18 (火)	¥1,625,000	中島 隆志
70	7	□ プロジェクトマネジメント	437日	06/04/03 (月)	08/01/02 (水)	¥0	
71	7.1	⊕ プロジェクトの立ち上げ				¥0	
74	7.2	⊕ プロジェクトの計画				¥0	
101	7.3	⊕ プロジェクトの監視コントロール				¥0	
168	7.4	□ プロジェクトの終結	9日	07/12/19 (水)	08/01/02 (水)	¥0	
169	7.4.1	⊕ 契約終了	3日	07/12/19 (水)	07/12/21 (金)	¥0	
172	7.4.2	⊕ 事務終了	3日	07/12/25 (火)	07/12/27 (木)	¥0	
175	7.4.3	□ 組織のプロセス資産(更新版)	3日	07/12/28 (金)	08/01/02 (水)	¥0	
176	7.4.3.1	全てのプロジェクト文書をまとめる	1日	07/12/28 (金)	07/12/28 (金)	¥0	
177	7.4.3.2	教訓をまとめる				¥0	
178	7.4.4	プロジェクト終了				¥0	

WBS構成要素
(サマリータスク)

スケジュール・アクティビティ
(サブタスク)

<MS Projectテンプレート・デモ>

- プロジェクトカレンダーの設定
- プロジェクト名、プロジェクトの概要入力
- 関連ファイルへのハイパーリンクの設定
- ビューの設定
 - WBS辞書
 - アンドバリュー報告書
 - カレンダー
 - コスト管理表
 - スケジュール
 - スケジュール管理表
 - パフォーマンス管理表
 - パフォーマンス報告シート
 - リソースヒストグラム
 - リソース配分調整

4. テンプレート活用と今後の展開

4.1 テンプレート活用のおすすめ

4.2 テンプレートに関する意見交換

4.3 今後の展開



Microsoft Office
Project Conference 2007 in Autumn



4.1 テンプレート活用のおすすめ(1)

- PMBOKテンプレート公開の目的

- 幅広くPMBOKの理論を実務に適用して頂くために、PMBOK委員会のメンバーがボランティアで作成したテンプレートを公開します。
- より良いテンプレートにするために、テンプレートを使用するユーザーより意見を募ります。

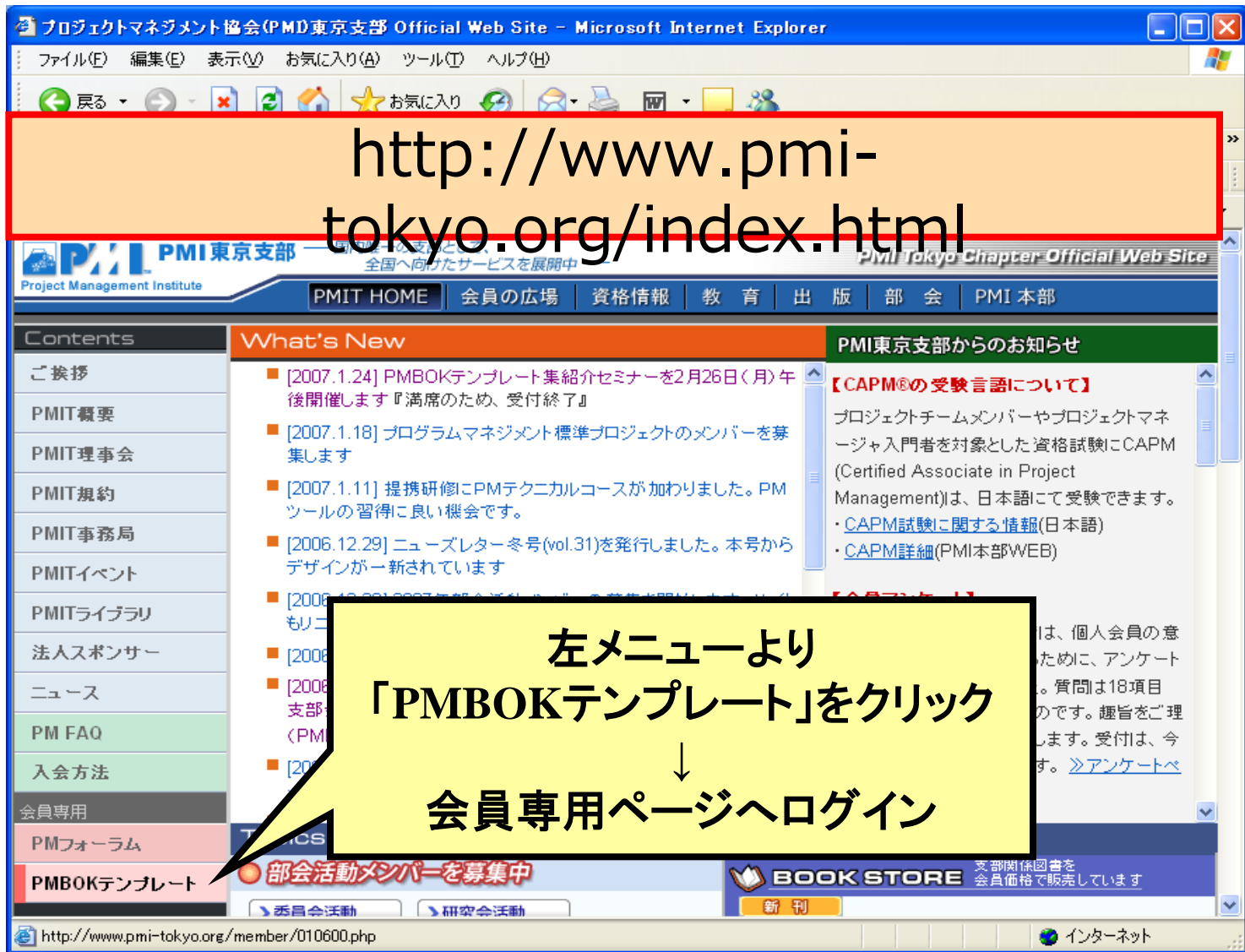
- 運営組織

- テンプレートの公開およびフォーラムの運営は、PMI東京支部PMBOK委員会が行います。
- 運営組織の役割は以下の通りです。
 - PMBOKの理論を実務に適用する際に有効なノウハウの収集・分析
 - PMBOKの理論を実務に適用する際に有効なテンプレートの作成、公開
 - PMBOKテンプレート公開サイトおよびPMBOKテンプレート・フォーラムの運営
 - PMBOKテンプレートの継続的改善

4.1 テンプレート活用のおすすめ(2)

- テンプレートのダウンロード
 - PMI東京支部の会員であれば誰でもダウンロードすることができます。
 - ダウンロードは無料です。
 - ご利用の際はウェブページに掲載されている最新の利用ガイドを参照下さい。
 - URL:<http://www.pmi-tokyo.org/member/010600.php>
 - 会員専用ページのため、ユーザー名、パスワードの入力が必要となります。

4.1 テンプレート活用のおすすめ(3)



4.1 テンプレート活用のおすすめ(4)

- テンプレートの著作権

- 本テンプレートの著作権は、PMI東京支部に帰属します。
- 著作権の取り扱いについては、「PMI東京支部著作物取り扱い規程」に準拠することとします。
- 本テンプレートを使用する際は、フッターに記載されている「テンプレート提供：PMI東京支部」の表記をそのまま表示することを条件とします。

4.2 テンプレートに関する意見交換(1)

- PMBOKテンプレートに関する意見交換
 - テンプレートを使用した感想、改善点などのご意見は、PMフォーラムの「PMBOKテンプレート・フォーラム」で受け付けております。
皆様のご意見を是非ともお聞かせ下さい！

4.2 テンプレートに関する意見交換(2)

PM FORUM - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 印刷 検索 お気に入り

テンプレートを使用した感想、改善点などのご意見は、PMフォーラムの「PMBOKテンプレート・フォーラム」にて受け付けております。

PMIT 東京支部
Project Management Institute
全国へ向けたサービスを展開中

PMIT HOME 会員の広場 資格情報 教育

Contents

- PMフォーラム
- ニューズレター
- セミナー報告
- 部会成果報告
- プロジェクト報告
- PMBOKテンプレート集
- 部会連絡会
- ログアウト
- 登録情報変更

PM FORUM

検索

FORUMS

PM用語フォーラム

1

公開した「PM用語集第1版」に関して当FORUMにて活発な改善提案、誤記・誤訳の指摘、その他ご意見をいただきたいと思います。

<http://www.pmi-tokyo.org/member/010400.php>

いただいた内容は、PM用語委員会で検討させていただき、PM用語集第1版の訂正や改善作業に鋭意フィードバックさせていただきます。(用語委員会)

last post : 2007-06-12 15:43:48

PMBOKテンプレート・フォーラム

2

現在、会員広場にて公開中の「PMBOKテンプレート」に関して、ご感想や意見、質問などを聞かせていただくために、このフォーラムを開設いたします。本テンプレート制作に携わったボランティアメンバーが対応いたしますので、積極的な投稿をお願いします。

※PMBOKテンプレートは、左のメニューから(PMBOK委員会)

last post : 2007-09-11 13:42:12

クリック

皆様のご意見、是非ともお聞かせ下さい！

4.2 テンプレートに関する意見交換(3)

ワークショップ要領

- PMBOKテンプレートについて、毎回テーマを決めて、少人数（定員20名）で意見交換を行う。
- 収集した意見を基にテンプレートを更新する。
- テンプレートの活用ノウハウを集積する。
- ワークショップの成果物
 - 議事録 (Q&A、テンプレート活用ノウハウ など)
 - 更新版のテンプレート
 - 新規のテンプレート
 - テンプレート・ガイド
 - その他テンプレート活用ノウハウを提供する物
- 対象者
 - 実際にテンプレートを参照（使用）し、ご意見をいただける方

4.2 テンプレートに関する意見交換(4)

ワークショップ要領

- 開催概要
 - － 会 場 : PMI東京支部 4F会議室（または別途会場レンタル）
 - － 時 間 : 18:50～21:30
 - － 定 員 : 20名
 - － PDU : 2.5PDU
 - － 料 金 : ￥4,000 (PMI東京支部会員、非会員、法人スポンサー同一価格)
- 事前に質問を投げかけ、意見を頂戴し、ワークショップ当日はそれを基にディスカッションする。
- 当日のディスカッション内容については、報告書としてPMフォーラムにアップして公開している。
- 意見を基にテンプレートの改訂を行っている。

4.3 今後の展開（1）

- 相互レビューの体験から得たもの
 - － 実務経験者が集まって議論することによって、PMBOKガイドを具体化することが出来た。
 - － 中規模のITプロジェクトとして一貫して整理したので理解しやすく、実用化に有効なものになった。
- 反省点
 - － 幅広く、多くの方の参加を得てさらに発展させることが必要である。
- 今後の発展
 - － PMI東京支部の皆様からのフィードバックをもとに、テンプレートを継続的に改善する。
 - － Web上での意見交換：PMフォーラム
 - － リアルでの意見交換：ワークショップ

皆様のご意見、是非ともお聞かせ下さい！

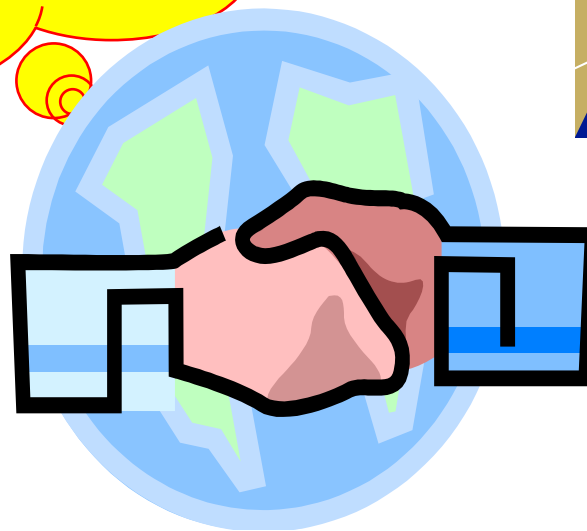
4.3 今後の展開（2）

2008年に向けて

- 利用環境の高度化
 - － EPM環境への展開（作業入力／実績報告等）
 - － B I 環境への展開（変更管理／課題管理等）
- 適用分野の拡大
 - － 製造業向け
 - － その他
- PMI標準改訂への対応
 - － PMBOK 第4版（2008年末改訂予定）
- 新しい標準への対応
 - － プログラムマネジメント標準 第2版（2008年末改訂予定）

4.3 今後の展開 (3)

**共通プロセス資産の蓄積
開発にご参画ください！
(12月新規会員募集)**



Microsoft Office Project Conference 2007

PMBOK実用化 テンプレートの紹介

<問合わせ先>

高橋 正憲

mtakahashi@p05.itsco
m.net

Thank You

